



コールパークとダイレクトコールパーク

コールパーク (Call Park) 機能を使用すると、コールを保留にし、そのコールにはシステム内の別の電話機から応答することができます。たとえば、電話機でアクティブコールを受けているときに、[パーク] ソフトキーを押し、そのコールをコールパーク内線番号にパーク (保留) することができます。システム内の誰かが別の電話機からそのコールパーク内線番号をダイヤルすると、そのパークされているコールを取得できます。

コールパークの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド*』の「[コールパークとダイレクトコールパーク](#)」を参照してください。

ダイレクトコールパークは、ユーザが選択し、待機状態になっているダイレクトコールパーク番号に対して、ユーザがコールを転送できる機能です。ユーザは、コールを取得するための設定済みプレフィックスをダイヤルし、次にダイレクトコールパーク番号をダイヤルすることで、パークされているコールを取得できます。

ダイレクトコールパーク番号は、Cisco Unified Communications Manager の [ダイレクトコールパークの設定 (Directed Call Park Configuration)] ウィンドウで設定します。設定されたダイレクトコールパーク番号は、クラスタ全体に存在します。電話機がダイレクトコールパーク Busy Lamp Field (BLF) をサポートしている場合、特定のダイレクトコールパーク番号のビジー/アイドルステータスを監視するようにその電話機を設定できます。また、ユーザは BLF を使用してダイレクトコールパーク番号を短縮ダイヤルすることもできます。

ダイレクトコールパーク機能を設定および使用方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド*』の「[コールパークとダイレクトコールパーク](#)」の章を参照してください。

